

令和7年度
八女市スーパースクール事業
「大阪・関西万博でYAMEの
魅力を広め隊！」



期 日: 令和7年5月31日(土)・6月1日(日) 一泊二日
会 場: 2025年大阪・関西万博(大阪市夢洲)ほか

1. 事業の目的

2025年大阪・関西万博「地方創生SDGsフェス(主催:内閣府地方創生推進事務局)」への八女市の出展に併せて、市内の中学生が八女市及び八女茶の魅力を国内外へ広くPRする同活動へのサポートに参加することで、青少年の郷土愛の育成を図る。併せて、世界各国から出展者が集まる2025年大阪・関西万博及びインバウンド経済に沸く大阪市内のフィールドワークを通じて、国内外の科学技術や歴史・文化などへの興味・関心を高め、世界でも活躍し得る人材の育成を試みる。

2. 主な活動内容

- ・八女伝統本玉露プロモーション事業in大阪・関西万博「究極のお茶で地域の魅力を高めるまち」のサポート
- ・2025年大阪・関西万博の会場見学
- ・大阪市内のフィールドワーク



3. 活動中の写真

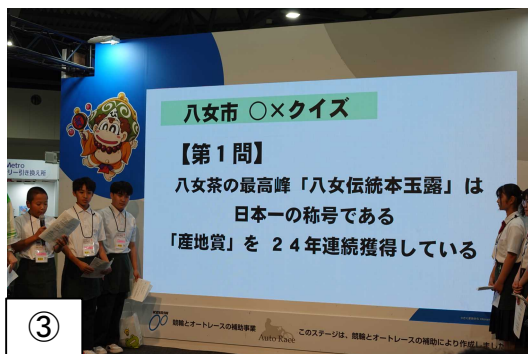


①

①
ステージ登壇前の打ち合わせの様子。



②



③



④

②・③・④
特設ステージに登壇し、簗原市長とのフリートークやO×クイズを通じて、八女市のPRを行った。



⑤



⑥

⑤・⑥
ステージ登壇後は、八女市の展示ブースにて、八女茶の説明や試飲の案内をサポート。多くの来場者との会話を通じて、八女茶の魅力を存分に伝えることができた。

4. 参加者の感想

私がこの事業に応募した理由は、普段から八女茶をたくさん飲んでいて、その美味しさや風味を世界中のいろいろな人に知ってもらいたいと思ったからです。万博のステージに立ってPRすることでそれが実現に繋がると思いました。

さらに、ありがたいことに八女茶販売のお手伝いをさせていただけると知って、挑戦してみたいと思ったからです。

事前研修会では、八女茶についての勉強をしたあと、ステージで何をするかを他の参加者や市役所の職員さんと一緒に考え、意見を出し合いました。緊張しましたが、少し本番のイメージを掴むことができました。

事前研修会を終えてから、当日までに、もっと八女茶を広めるためにはどうしたら良いかと考えました。インターネットや事前研修会で貰った、八女茶についての資料をたくさん読み、多くの人に八女茶のおいしさや魅力を伝えることができるよう準備をしました。

当日は引率スタッフのみなさんが盛り上げてくださって、いい雰囲気でも万博会場まで行くことができました。移動中に、急遽ステージの出番が1時間早くなったと連絡がありました。それに加えて会場内が混雑していたため、入場をするのに時間がかかり、ステージに間に合わないかもしれないとドキドキしました。結局、八女市のブースに着いたのは、ステージに上がる15分前でした。打ち合わせもほとんどできなかったけど、なんとかステージに間に合うことができてよかったです。

ステージは思っていた以上にお客さんがたくさんいて、とても緊張しましたが、それを感じさせないぐらい、一人一人が自信を持って大きな声でハキハキと喋っていました。箕原市長の急なアドリブにもみんな対応できていたので良かったです。市長も30分という短い時間の中で八女の魅力について、たくさん話してくださり、市長がたくさんカバーなどをしてくれたおかげで、完璧に八女のことをPRできたと思います。お客さんも私たちの話にうなずいてくれたり、拍手をくれたりととても優しかったです。

ステージの出番を終えた後は、市役所の職員の方と一緒に、八女茶の販売の手伝いをしました。多くの人に「八女茶いかがですか？ぜひ飲んでみてください！」と声をかけて、八女茶の試飲をしてもらいました。その中で聞こえてきたのは「爽やかな香り！」「美味しい！」「コクがある」などの温かい言葉でした。それがこんなにも嬉しいことだとは思いませんでした。

私が見る限りでは販売した八女茶もたくさん売れていたと思います。こんなに売れたのも、一緒に参加した5人と箕原市長、引率してくださった方、八女茶を育てている農家の方々、その他大勢の人の協力のおかげだと思います。

大阪・関西万博という大きな舞台で、八女茶や八女市をPRしたことは、言葉で表せられないほど貴重な経験となり、大きな自信になりました。そして、今まで以上に八女のことになりました。

この事業を企画してくださった方、協力してくださった大勢の方に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。